

二酸化炭素(CO2)排出量計算表(その1)

別添

登録番号	
導入車両車名	
導入車両型式	

導入車両の自動車検査証の内容を記載

社名 : _____
 (_____)
 担当者名 : _____
 電話番号 : _____

* 社名の()はリース貸渡し先を記載

(天然ガス自動車)

	導入車両のH30年度の使用状況	導入車両	備考
使用開始日		年度終了後、二酸化炭素(CO2)排出量計算書(その2)の走行キロ(km)年度計の数値を記載	日付もしくはそれ以降に運送事業での利用を開始した日(いずれか遅い方)の日付を記入してください。
導入車両の各年度の走行距離(km)①	km	年度終了後、二酸化炭素(CO2)排出量計算書(その2)の走行キロ(km)年度計の数値を記載	30年度は補助対象車両の登録日から31年3月31日までの走行キロ(注2)を記入してください。31年4月1日から平成32年3月31日までの走行キロ(注2)を記入してください
導入車両の各年度の燃料使用量(Nm3)②	Nm3	年度終了後、二酸化炭素(CO2)排出量計算書(その2)の燃料使用量(NM3)年度計の数値を記載	補助対象車両の登録日から31年3月31日までの燃料使用量(注2)を記入してください。31年4月1日から平成32年3月31日までの燃料使用量(注2)を記入してください
導入車両の年間平均燃費③	#DIV/0! km/Nm3	#DIV/0!	導入車両の平均燃費が計算され表示されます。
標準車両の燃費④	km/ℓ	年度終了後、二酸化炭素(CO2)排出量計算書(その2)の燃料使用量(NM3)年度計の数値を記載	車を購入したとき、代替されたディーゼル車があった場合には、そのディーゼル車の燃費を、代替されるディーゼル車がなかった場合は、所有している自動車とする補助対象自動車と同格(注4)のディーゼル車の実走行燃費を、それがない場合は、JATAの換算値を記入すること。
標準車両におけるCO2排出係数⑤	2.58 kg-CO2/ℓ	2.58 kg-CO2/ℓ	排出係数とは、単位量の燃料当たりから何kgのCO2が排出されるかを計算するための係数です。ガソリンは2.32、軽油であれば2.58を記入してください。
導入車両におけるCO2排出係数⑥	2.23 kg-CO2/Nm3	2.23 kg-CO2/Nm3	排出係数とは、単位量の燃料当たりから何kgのCO2が排出されるかを計算するための係数です。天然ガスは2.23kg-CO2/Nm3です。
標準車両の年間CO2排出量⑦	#DIV/0! tCO2	#DIV/0! tCO2	①÷④×⑤÷1,000
導入車両の年間CO2排出量⑧	#DIV/0! tCO2	#DIV/0! tCO2	①÷③×⑥÷1,000
CO2削減量	#DIV/0! tCO2	#DIV/0! tCO2	標準車両の年間co2排出量⑦から導入車両の年間co2排出量⑧を引くことで、年間(年度途中で導入した場合は、そこから年度末までの間)のco2削減量を計算することができます。

注1. 上記様式は、当該年度末及びその後の1年間について必ず作成し、そのコピーを交付規程様式第15事業報告書と共に提出してください。
 注2. 燃費改善効果及び二酸化炭素削減効果を把握することが、当該補助金の目的であり、事業報告書を提出しない場合は、補助金の返還もあり得ます。
 注3. 補助対象車両が複数の場合は、本表を台数分提出してください。
 注4. 導入車両と同規模かつ同仕様の車両をいう。(例: 導入車両が2トンHV塵芥車の場合2トンディーゼル塵芥車、導入車両が3トンHVボトルカーの場合は3トンディーゼルボトルカー)